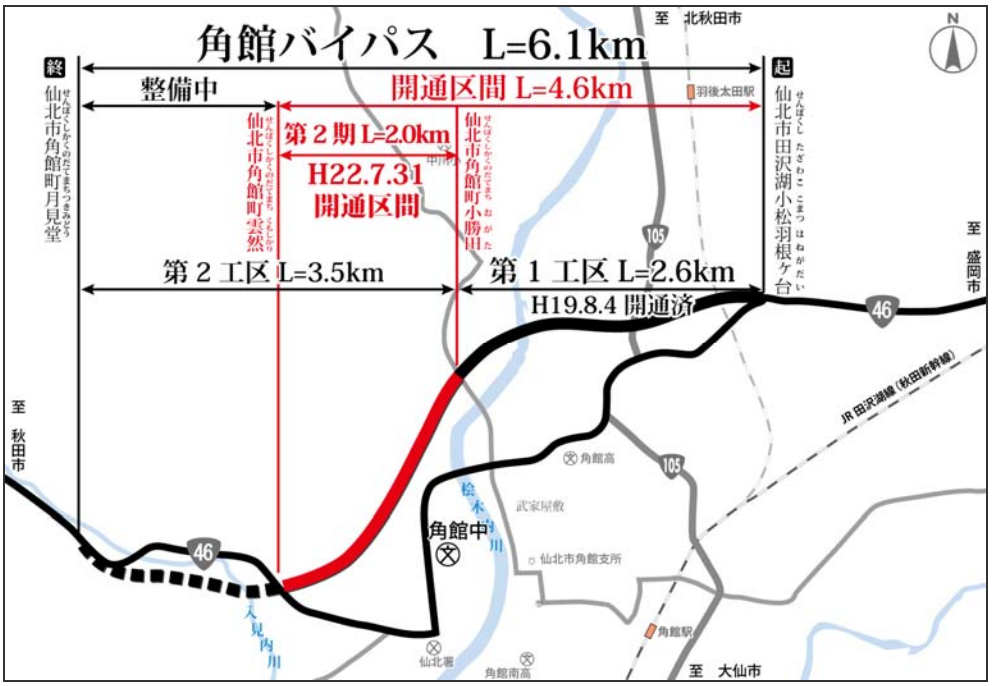
記者発表資料

平成 22 年 9 月 30 日
国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所

国道 46 号角館バイパス（第２期）開通で 市街地を通過する大型車が約６割減少しました！

平成 22 年 7 月 31 日(土)に開通した角館バイパス（第 2 期）L=2.0km の 1 ヶ月後の交通状況の変化についてお知らせいたします。



●国道４６号角館中学校付近の交通量が約５割減少しました。また、大型車の約６割は角館バイパスを利用し、バイパス区間の通過時間は４分短縮になりました。

自動車交通量の変化

		開通前(7/26)	開通直後(8/2)	開通 1 ヶ月後(9/2)
国道 46 号（角館中学校付近）	全 体	9,380 台/日	5,650 台/日	5,010 台/日（約 5 割減少）
	うち大型車	1,450 台/日	610 台/日	560 台/日（約 6 割減少）
角館バイパス（H22.7.31 開通区間）		―	3,990 台/日	3,810 台/日

※詳細については別添を参照してください。

発表記者会：秋田県政記者会

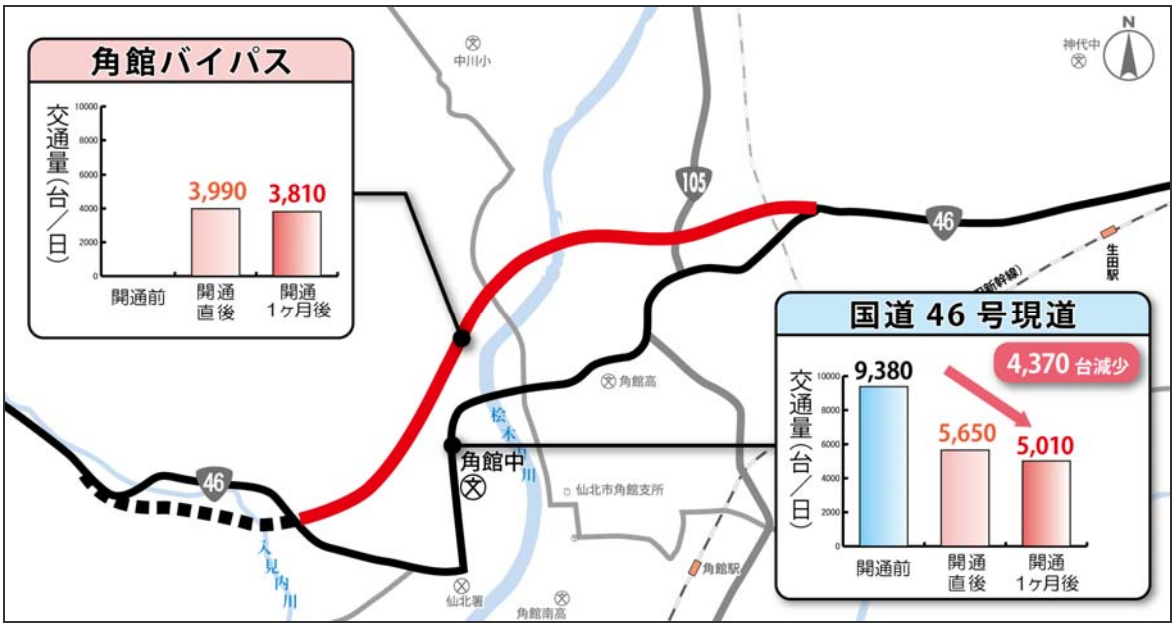
問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
TEL　０１８（８２３）４１６７
調査第二課長　：　田村（たむら）　寿（ひさし）　（内線４５１）

別　添

１．自動車交通量の変化

○ 国道 46 号角館中学校付近の交通量が 4,370 台/日（約 5 割）減少しました。
○ 角館バイパスは 3,810 台/日が利用しています。

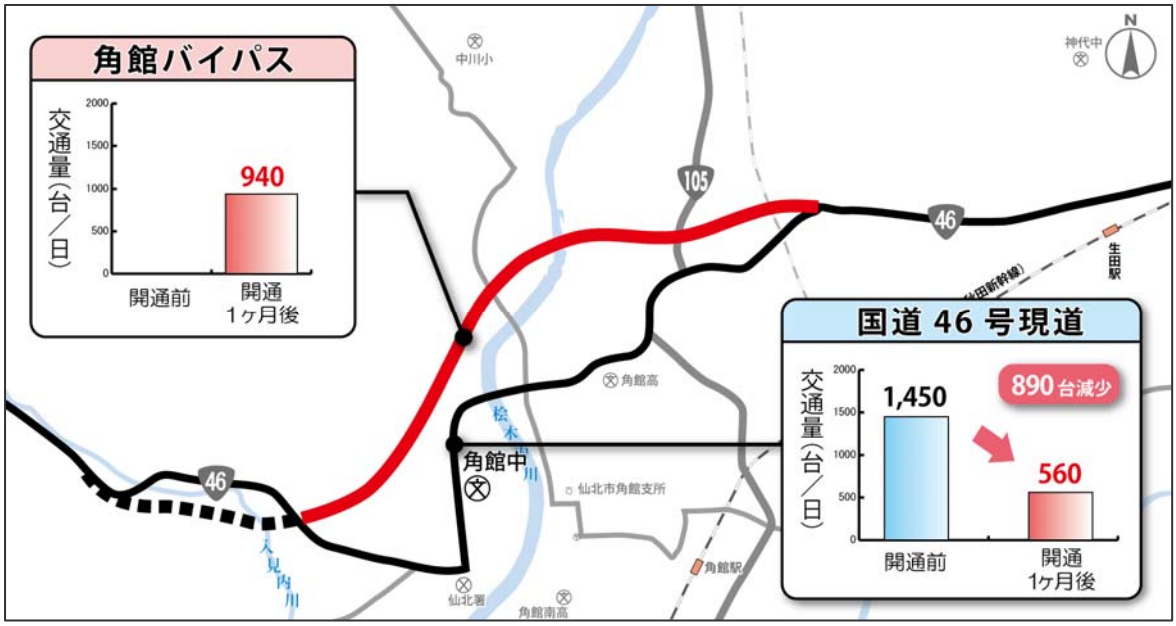
【 開通前（7 月 26 日)】　　【 開通 1 ヶ月後（9 月 2 日)】
国道 46 号（角館中学校付近）　9,380 台/日　⇒　5,010 台/日（約 5 割減少）
角館バイパス（H22.7.31 開通区間）　⇒　3,810 台/日



２．大型車交通量の変化

○ 国道 46 号角館中学校付近の大型車交通量が 890 台/日（約 6 割）減少しました。
○ 角館バイパスは 940 台/日の大型車が利用しています。

【 開通前（7 月 26 日)】　　【 開通 1 ヶ月後（9 月 2 日)】
国道 46 号（角館中学校付近）　1,450 台/日　⇒　560 台/日（約 6 割減少）
角館バイパス（H22.7.31 開通区間）　⇒　940 台/日



別　添

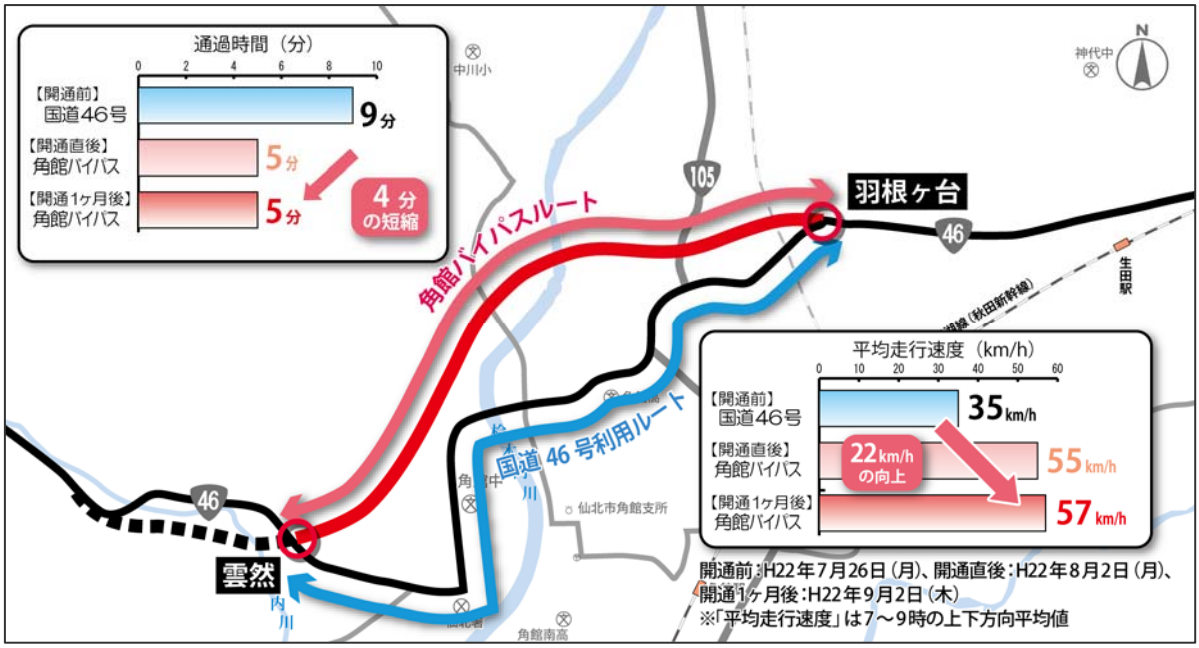
３．通過時間の短縮（仙北市田沢湖小松羽根ヶ台（はねがだい） ～ 仙北市角館町雲然（くもしかり））

○ 通過時間は４分短縮し、平均走行速度は 22km/h 向上しました。

【 開通前 】　国　道　４６　号　利　用：９分、　　平均速度３５km/h

【 開通１ヶ月後 】　角館バイパス利用：５分、　　平均速度５７km/h

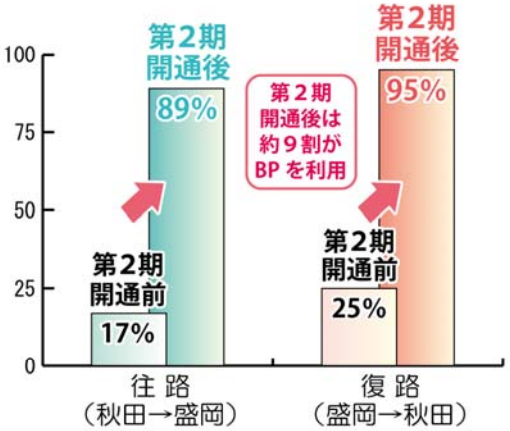
短　縮　時　間：４分、走行速度向上：平均速度２２km/h



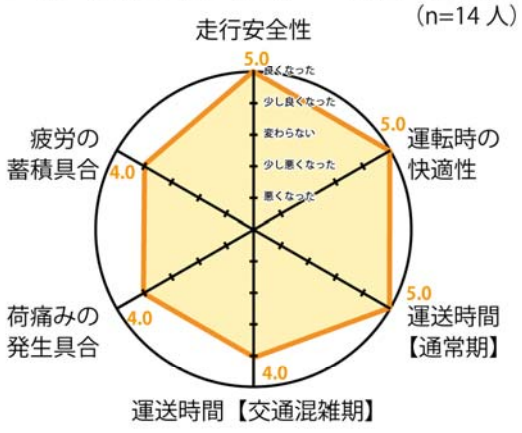
秋田盛岡間を利用する物流ドライバーの声

○角館バイパスの利用率が大幅に向上し、走行安全性や運転時の快適性などに高い評価を得ています。

■往路・復路別角館ＢＰ利用率の変化



■第２期開通後の角館ＢＰ利用の満足度



ドライバーの声	・国道 46 号の現道は角館の街中を通っており、運転に神経を使っていたが、**バイパスは人身事故の危険がない点が大きな効果**である。 ・発進・停止の減少により**疲労軽減、燃費の向上**に効果がある。

出典：物流ドライバーアンケート